

読書のまち三郷だより

No.37
平成25年
3月
三郷市教育委員会

旅たちの春に

卒業の季節、児童・生徒たちも新しい世界へと巣立っていきます。学校図書館が、在校中の“いい思い出の場所”“すばらしい本と出会った場所”“本を駆使して勉強した場所”として子ども達の心に残るといいですね。そして、そのことが生涯学習の場としての公共図書館の活用にもつながることでしょう。

24年度三郷おすすめの本読破賞 約1400名

～教育長から賞状とバッジ～

三郷おすすめの本が100冊あります。小学校の低学年20冊 中学年20冊 高学年20冊と中学校40冊で合計100冊です。そのおすすめの本を所属学年の時に読破すると、教育長から認定証とバッジが渡されます。毎年読破賞をもらう児童生徒が増えてきて、今年は1400名を突破しました。素晴らしいですね。

読書のまち三郷・こども読書活動推進協議会開催 2月27日(水)



2月27日(水)はこども読書活動推進協議会が開かれました。保育所・幼稚園・小学校・中学校・子育て支援センター・児童館など様々な立場から現在の子どもの読書状況や12月にとられた読書アンケートの結果が報告されました。

三郷市の読書活動は前進しているけれど、さらに読書の豊かさを感じられる働きかけを大切にし、子どもたちの読書好きを増やす努力を丁寧にしていきましょうと話されました。

全国的に注目！！ 彦糸中の「希望の木」



彦糸中の2年生は総合学習で演劇「希望の木」に取り組みました。これは、東日本大震災の奇跡の1本松の物語を描いた作家新井満さんの詩集「希望の木」を歌やダンスを織り交ぜたオペレッタにしたものです。

震災関連の本もたくさん読んで震災を忘れてはいけないという強い思いが込められています。11月に文化祭で紹介しただけでなく、2月8日には来年度の入学生に披露されました。それが報道され、全国的に注目をされています。(写真は東京新聞 Web サイトより)

「ららほっとみさと」でおはなし会 2/17 子ども司書大活躍



2月16日(土)は子ども司書によるお話し会でした。ららほっとでの活動も2回目です。手遊び・大型絵本での読み聞かせと子ども司書はにこやかに子ども達に読み聞かせをしていました。頼もしく育ってきています。

ブックスタート



お父さんも参加！！
図書館の司書が
読み聞かせ(2/6)

三郷市では9ヶ月児健診の際、読み聞かせの大切さを伝え、絵本をプレゼントしています。今後は、4ヶ月児健診で行う予定で現在移行中です。

読書活動を取り入れた授業を展開

学校読書活動推進協議会開催
2月1日(金)



立っている児童がクイズを出し、他の児童は質問をします。出題者は質問に答えます。コミュニケーション力が着実に伸びていく授業です。



授業参観後の先生方のグループ討論です。読書活動を授業にどう取り入れていくか活発に討論されました。

学校読書活動推進協議会主催で読書活動を取り入れた研究授業が八木郷小学校1年1組で行われました。国語科の授業で1年生がクイズを作ります。そのクイズをグループで発表し合い、質問をしながら答えを当てるといった言語能力を伸ばす授業です。クイズを考える時に本を参考にし、学んだ知識もみんなに知らせるといった活動も取り入れた内容豊かな授業が展開されました。

学校図書館の掲示コーナー紹介



★授業での学校図書館活用が進んできました！★



1年生が国語の授業で作ったお菓子などの空き箱を利用して作った本の紹介ポップです。(栄中)



2年生が社会科の授業で作った「気になる『あの人』」というタイトルでの歴史人物新聞です。(南中)



うちどく推進で家族の絆を培おう！

読んだ本をお母さんにすすめ、そのあとお母さんが本を読みました。
お母さんからもおすすめの本もありました。

— 「チロヌップのきつね」 高橋宏幸/作 金の星社 新和小5年 —



日本をおそった戦争の中でチロヌップという島で、きつねの子ちびぎつねとぼうやぎつねが生まれて戦争中なので、色々なことがあった中で、お父さんぎつねは死んでしまっ、ぼうやぎつねもじゅうでうたれて死んでしまったのがかわいそうでした。でも、まだちびぎつねとお母さんぎつねは生き残っているの、お母さんぎつねは、ちびぎつねのためにいっしょうけん命に働いてすごいなあと思いました。でも、生きていく中では、こんなこともあるのだと思ってかわいそうなお話でした。ぜひ読んでみてください。

(娘：矢島みのり)

家読ゆうびんありがとう。「チロヌップのきつね」読みました。みのりは小さい頃、戦争のお話が嫌でした。でも、10才になったころから、戦争の話にもちゃんと耳をかたむけられるようになりましたね。体も成長しているけれど、心も成長しているんだなあと思いました。戦争の話を読んで感じたこと…かわいそうに思ったり、今は戦争がなく平和でうれしく思ったりしたことを忘れずにいてほしいです。

それから、もう一つ、戦争の頃のお話「まっ黒なおべんとう」という本があります。これは、お母さんが仕事の研修で広島県の平和記念公園を訪れた時におみやげで買ってきた本です。7年前に買った本なので、4才のみりにはむずかしい本でした。でも、体も心も成長している今のみのりなら読める本です。ぜひ、読んでみてください。

(母：矢島一美)